

日時：令和2年9月28日（月）
13時30分～15時30分
場所：大和信用金庫 八木支店 3階 第1会議室

第3回 橿原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

次 第

1 開会	13：30～13：35
2 議事	13：35～15：25
1) 第2回検討委員会の概要について	資料説明：60分程度 質疑応答：55分程度
2) 適正配置のための対応策について	
3) 今後のスケジュールについて	
3 その他	15：25～
4 閉会	～15：30

・配布資料

次第

委員名簿（令和2年度6月版）

資料01_第2回検討委員会の概要と対応策について

資料02_認定こども園の類型及び民間活力導入の形態について

資料03_公立幼稚園の休園基準等について

資料04_今後の検討スケジュール

補足資料01_公立保育所・幼稚園の現状について

本検討委員会の委員名簿（令和2年6月更新）

所属・役職	氏名
学識 (奈良芸術短期大学 副学長)	あまね としはる 天根 俊治
学識 (奈良教育大学 名誉教授)	しげまつ けいいち 重松 敬一
私立保育園 代表 (愛育保育園 園長)	まつい だいすけ 松井 大典
私立幼稚園 代表 (くちなし幼稚園 園長)	さへき まさとし 佐伯 雅寿
橿原市自治委員連合会 代表 (市自治委員連合会 会長)	ますたに さちよ 榎谷 佐千代
橿原市自治委員連合会 代表 (市自治委員連合会 副会長)	よねかわ のりひさ 米川 憲久
橿原市PTA連合会 代表 (市PTA連合会 会長)	かきもと けんぞう 柿本 健三
橿原市PTA連合会 代表 (次年度準備委員会委員長)	たつみ たかお 辰巳 隆雄
橿原市議会 代表 (副議長)	ひろい かずたか 廣井 一隆
橿原市園長会 代表 (園長会長)	いぬい いくよ 戌亥 育代
橿原市校長会 代表 (校長会 選出)	まつもと しゅうじ 松本 修二
労働者 代表 (橿原市労働者福祉協議会 選出)	もりしま りょういち 森嶋 良一
公募委員	いのうえ まさき 井上 昌規
公募委員	なかい よしみ 中井 好

以上、14名

1. 第2回検討委員会の概要

1.1. 公立保育所・幼稚園の現状と保育ニーズについて

1.1.1. 園児数の推移と推計

各幼稚園の1学級あたりの園児数は、平成27年度時点で1学級20人以上であった幼稚園の多くが1学級10人規模まで減少しています。また、各学年の学級数は令和2年度時点で真菅幼稚園を除くすべての園において1学級となっています。

人口推計値をもとに、園児数の推計を行った結果からは、現在よりもさらに公立幼稚園の小規模化が進行し、令和16年度には、1学級あたり5人を下回ると見込まれている公立幼稚園もあります。

1.1.2. 本市における保育ニーズ

現状の潜在待機児童は約200人であり、今後も共働き世帯の増加、核家族化の進行、ひとり親世帯の増加などの社会的要因から、子どもを預けなくては働けない家庭が増え、少子化にも関わらず、保育需要が増大する傾向にあります。

以下に示すアンケート調査は、第2期檀原市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、子育て支援に関する意見を把握したものです。

表 1-1：調査概要

調査名	檀原市子ども・子育て支援に関するアンケート調査（平成31年3月）			
調査対象者	就学前児童保護者：市内在住の就学前のお子さんから1,600人を無作為に抽出 就学児童保護者：市内在住の小学生のお子さんから800人を無作為に抽出			
調査期間	平成31年2月28日～3月15日			
調査方法	郵送による配布及び回収			
回収結果	調査対象者	配布数	有効回答数	有効回収率
	就学前児童保護者	1,600	899	56.2%
	就学児童保護者	800	460	57.5%
	合計	2,400	1,359	56.6%

■ 保育ニーズへの対応

- ・ 保護者の就労状況について、現在「フルタイム【週5日・1日8時間程度】」または「パート・アルバイト【月64時間以上】」「パート・アルバイト【月64時間未満】」により就労していると回答された方は、母親では57.0%、父親では93.9%となっています。平成25年度調査と比較すると、母親で8.1%、父親で4.7%の増加となっており、子どもを預けなくては働けない家庭が増えています。
- ・ 現状、公立幼稚園の預かり保育は、水曜日なしの週4日で実施していますが、幼稚園の預かり保育に対し、週5日で62.7%と最も高くなっていることから、今後、サービスの充実を図っていくためには、週5日の実施の検討が必要と考えられます。また、早朝の預かり保育の実施や預かり保育を延長することについて検討が必要と考えられます。
- ・ 土日祝日の利用希望はいずれも利用する必要はないが最も高くなっていることから、新たに土日祝日の開園まで検討する必要はないと考えます。
- ・ 現状、公立幼稚園では、長期休暇中の預かり保育は実施していませんが、夏休み・冬休みなどの長期休暇中の利用希望では、週に数日利用したい方が44.8%と最も高くなっていることから、今後、サービスの充実を図っていくためには、長期休暇中の預かり保育の実施について検討する必要があると考えられます。
- ・ 現状、公立幼稚園は4、5歳保育で3歳保育は実施していませんが、保育サービスの利用希望年齢

では、4歳が34.2%と最も高く、次いで3歳が32.9%となっており、さらに2歳が11.8%、1歳が10.5%となっていることから、今後、檀原市の就学前の保育、教育の魅力を総体として高めていくためには、公立幼稚園での3歳児保育の実施について検討が必要と考えられます。また、幼稚園ではカバーできない1、2歳児から利用したい希望もあることから、今後、適正配置を進めていく中で、既存施設から転換して認定こども園への整備について検討が必要と考えられます。

- ・ 檀原市に求める子育て支援の充実内容では、子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしいが73.6%と最も高く、次いで幼稚園や保育園・認定こども園にかかる費用負担を軽減してほしいが40.5%となっています。費用負担の軽減については、昨年10月から就学前教育・保育の無償化が実施されており、一定の解消がみられたと考えています。
- ・ 保育園・認定こども園を増やしてほしいという要望が27.3%と高くなっており、幼稚園を増やしてほしいという要望も7.8%あることから、今後、適正配置を進めていく中で、認定こども園への整備だけを目指すのではなく、幼稚園のニーズもあるということも忘れずに進めていく必要があると考えられます。

1.2. 適正配置のための対応策について

今後も共働き世帯の増加、核家族化の進行、ひとり親世帯の増加などの社会的要因から、子どもを預けなくては働けない家庭が増え、少子化にも関わらず、保育需要が増大する傾向にあります。

公立幼稚園では、園児の減少が著しく、子どもの育ちに大切な集団がさらに小規模化し、望ましい環境での幼児教育が難しい状況となると見込まれます。

このようなことから、就学前の保育・教育を一体として捉え、一貫して質の高い保育・教育を提供する新たな枠組みを検討する必要があるため、以下に示す5つの対応策を実施し、公立保育所・幼稚園の適正配置を進めたいと考えています。

対応策 1

公立幼稚園の再編

公立幼稚園では、園児の減少が著しく、子どもの育ちに大切な集団がさらに小規模化し、望ましい環境での幼児教育が難しい状況となると見込まれ、施設の老朽化も課題となっていることから、公立幼稚園の再編を検討します。

対応策 2

認定こども園の整備と民間活力の導入の検討

多様な保育ニーズに対応するため、公立保育所・幼稚園の既存施設からの転換を目指し、新たな枠組みとして認定こども園の整備や民間活力の導入の必要性について検討します。

対応策 3

公立幼稚園での3歳児保育の実施

檀原市の就学前の保育・教育の充実を図るため、公立幼稚園での3歳児保育の実施について検討します。

対応策 4

預かり保育の拡充

公立幼稚園での預かり保育の延長など、速やかに実施可能なサービスの拡充について検討します。

対応策 5

過小規模園の一時的な休園

子どもたちの育ちに大切な集団が過小規模となり、幼児教育の実施が困難と見込まれる場合に休園とする基準の設定を検討します。

1.3. 対応策1 公立幼稚園の再編

1.3.1. 再編シミュレーションの条件

下記の条件に該当する公立幼稚園について、再編した場合の園児数や必要学級数等を推計し、施設の長寿命化改修や建替の時期を考慮して、再編実施時期についてシミュレーションしています。

【再編シミュレーションの条件】

- (1) 同じ中学校区内で既存施設を活用した再編とする。
- (2) 原則、長寿命化改修を行う時期（建築後55年頃）に合わせて再編を実施する。ただし、真菅北幼稚園、耳成南幼稚園については、軽量鉄骨造で長寿命化改修の効果が得にくいため、軽量鉄骨造の建替時期（建築後50年頃）に合わせて実施する。
- (3) 第1～第5こども園及び白檀幼稚園については、既に再編を実施済みであるため、シミュレーションの対象としない。ただし、第1こども園については小学校の再編を検討中であり、その実施時期に合わせて考えるため、シミュレーションの対象とする。

条件を満たす組合せ

1.3.2. 再編シミュレーションの概要

条件に該当する園および再編の組合せ案は以下のとおりです。

なお、再編組合せ案の実施順については、園児数の推計や施設の長寿命化改修や建替の時期を考慮しています。

具体的な再編シミュレーションの結果については、次ページ以降に示します。

表 1-2：再編の組合せ案

対象園		組合せ		再編時期	再編順
畝傍中学校区	畝傍南幼稚園	檀原中学校区	真菅北幼稚園	R6年度頃	1
	畝傍東幼稚園		耳成西幼稚園		
八木中学校区	第1こども園	八木中学校区	耳成幼稚園	R6年度頃	2
	晩成幼稚園		耳成南幼稚園		
	耳成幼稚園	畝傍中学校区	畝傍南幼稚園	R13年度頃	3
	香久山幼稚園		畝傍東幼稚園		
耳成南幼稚園	大成中学校区	真菅幼稚園	R17年度頃	4	
大成中学校区	真菅幼稚園	八木中学校区	第1こども園	学校の再編時期による	
檀原中学校区	真菅北幼稚園		晩成幼稚園		
	耳成西幼稚園		香久山幼稚園		

檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

1.3.3. 再編シミュレーションの結果

(1) 再編シミュレーション結果

対象園の再編後の状況は以下のとおりです。いずれの再編でも令和2年度時点で再編後の必要学級数を確保できますが、4歳児、5歳児の2年保育の現状の幼稚園のままでは、各学年で複数学級を令和16年度まで保つことはできない見込みです。

畝傍中学校区（畝傍南幼稚園×畝傍東幼稚園）										
畝傍南幼（4室RC造）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R12	R14	R16
畝傍東幼（8室RC造）	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2028	2030	2032	2034
園児数	69	66	62	59	54	50	46	44	42	39
4歳	30	31	27	28	23	23	21	20	20	18
5歳	39	35	35	31	31	27	25	24	22	21
必要学級数	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
4歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
畝傍南幼余裕教室数	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
畝傍東幼余裕教室数	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6
畝傍南幼建築後年数	36	37	38	39	40	41	44	46	48	50
畝傍東幼建築後年数	43	44	45	46	47	48	51	53	(55)	57

(55)は長寿命化改修実施期限（RC造（鉄筋コンクリート造））

50は建替時期（LS造（軽量鉄骨））

八木中学校区（耳成幼稚園×耳成南幼稚園）										
耳成幼（3室RC造）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R12	R14	R16
耳成南幼（7室LS造）	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2028	2030	2032	2034
園児数	86	84	80	75	75	75	72	68	67	66
4歳	40	45	38	39	39	38	37	35	34	34
5歳	46	39	42	36	36	37	35	33	33	32
必要学級数	4	4	4	4	4	4	4	3	2	2
4歳	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
5歳	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
耳成幼余裕教室数	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	0	1	1
耳成南幼余裕教室数	3	3	3	3	3	3	3	4	5	5
耳成幼建築後年数	38	39	40	41	42	43	46	48	50	52
耳成南幼建築後年数	45	46	47	48	49	50	53	55	57	59

(55)は長寿命化改修実施期限（RC造（鉄筋コンクリート造））

50は建替時期（LS造（軽量鉄骨））

大成中学校区（真菅幼稚園）										
真菅幼（6室RC造）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R12	R14	R16
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2028	2030	2032	2034
園児数	60	54	51	52	58	50	48	47	46	46
4歳	21	21	18	24	20	19	19	18	18	18
5歳	39	33	33	28	38	31	29	29	28	28
必要学級数	3	2	2	2	3	2	2	2	2	2
4歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1
真菅幼余裕教室数	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4
真菅幼建築後年数	39	40	41	42	43	44	47	49	51	53

(55)は長寿命化改修実施期限（RC造（鉄筋コンクリート造））

50は建替時期（LS造（軽量鉄骨））

檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

檀原中学校区（真菅北幼稚園×耳成西幼稚園）										
真菅北幼（7室LS造）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R12	R14	R16
耳成西幼（5室RC造）	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2028	2030	2032	2034
園児数	53	56	57	54	52	53	49	49	48	47
4歳	29	34	32	30	30	30	28	28	28	27
5歳	24	22	25	24	22	23	21	21	20	20
必要学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
真菅北幼余裕教室数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
耳成西幼余裕教室数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
真菅北幼建築後年数	45	46	47	48	49	50	53	55	57	59
耳成西幼建築後年数	40	41	42	43	44	45	48	50	52	54

⑤5は長寿命化改修実施期限（RC造（鉄筋コンクリート造）） 50は建替時期（LS造（軽量鉄骨））

※小学校の再編を検討中であり、その実施時期に合わせて考えるため、シミュレーションを実施

八木中学校区（第1こども園×晩成幼稚園×香久山幼稚園）										
第1こども園（11室RC造）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R12	R14	R16
晩成幼（6室RC造）	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2028	2030	2032	2034
香久山幼（2室RC造）										
園児数	187	207	224	227	221	196	184	179	173	167
0歳	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4
1歳	18	15	14	14	14	13	13	12	12	11
2歳	26	31	24	24	23	23	21	21	20	19
3歳	35	38	44	34	34	33	31	30	29	28
4歳	48	56	63	70	53	52	49	48	47	45
5歳	55	62	74	80	92	70	65	63	61	60
総学級数	11	11	11	10	11	10	10	10	10	9
うち幼稚園部のみ	36	37	40	43	36	31	29	29	29	29
4歳	21	21	26	27	19	19	18	18	18	18
5歳	15	16	14	16	17	12	11	11	11	11
必要学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
第1こども園余裕教室数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
晩成幼余裕教室数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香久山幼余裕教室数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第1こども園建築後年数	24	25	26	27	28	29	32	34	36	38
晩成幼建築後年数	41	42	43	44	45	46	49	51	53	⑤5
香久山幼建築後年数	41	42	43	44	45	46	49	51	53	⑤5

⑤5は長寿命化改修実施期限（RC造（鉄筋コンクリート造）） 50は建替時期（LS造（軽量鉄骨））

(2) 再編スケジュール案

再編シミュレーションの結果から再編スケジュール案は以下のとおりです。

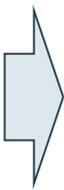
再編順 1 檀原中学校区（真菅北幼稚園×耳成西幼稚園）							
再編対象園		令和2年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	保有教室数
		合計園児数	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
真菅北幼稚園 28人 建築年数 45年	➡	合計 53人	地元PTA 説明	設計 委託	工事	開園	7
耳成西幼稚園 25人 建築年数 40年			➡				5
※再編後も幼稚園としては単クラスになる見込み。既存施設からの転換を目指す。							

再編順 2 八木中学校区（耳成幼稚園×耳成南幼稚園）							
再編対象園		令和2年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	保有教室数
		合計園児数	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
耳成幼稚園 43人 建築年数 38年	➡	合計 86人	地元PTA 説明	設計 委託	工事	開園	3
耳成南幼稚園 43人 建築年数 45年			➡				7
<p>※再編後も幼稚園としては令和12年度（2030年度）から単クラスになる見込み。既存施設からの転換を目指す。</p> <p>※中和幹線を横断するが、歩道橋なし。</p> <p>※保有教室数が足りない可能性あり。</p>							

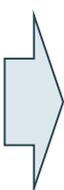
再編順 3 畝傍中学校区（畝傍南幼稚園×畝傍東幼稚園）							
再編対象園		令和2年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	保有教室数
		合計園児数	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	
畝傍南幼稚園 25人 建築年数 36年	➡	合計 69人	地元PTA 説明	設計 委託	工事	開園	4
畝傍東幼稚園 44人 建築年数 43年			➡				8
<p>※再編後も幼稚園としては単クラスになる見込み。既存施設からの転換を目指す。</p> <p>※国道169号線を横断するが、歩道橋なし。</p>							

檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

再編順4 大成中学校区（真菅幼稚園）

再編対象園		令和2年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	令和18年度	保有教室数
		合計園児数	2033年度	2034年度	2035年度	2036年度	
真菅幼稚園 60人 建築年数39年		合計 60人	地元PTA 説明	設計 委託	工事	開園	6
※幼稚園としては令和7年度（2025年度）に単クラスになる見込み。既存施設からの転換を目指す。							

再編順（※小学校の再編時期による）八木中学校区（第1こども園×晩成幼稚園×香久山幼稚園）

再編対象園		令和2年度	令和●年度	令和●年度	令和●年度	令和●年度	保有教室数
		合計園児数	●●年度	●●年度	●●年度	●●年度	
第1こども園 長時間部151人 短時間部7人 建築年数24年		合計 187人	地元PTA 説明	設計 委託	工事	開園	11
晩成幼稚園 19人 建築年数41年							6
香久山幼稚園 10人 建築年数41年							2
<p>※鴨公小・香久山小・晩成小学校の再配置と連動する。既存施設からの転換を目指す。</p> <p>※遅くとも令和16年度には開園できるよう検討。</p> <p>※香久山幼稚園は過小規模となっているため、速やかに現状の第1こども園の対象とする。</p> <p>※給食設備は、現在の食数の調理で限界（釜の大きさ、消毒保管庫の大きさ等）のため、設備の整備が必要。</p> <p>※現在の保育室の広さでは受け入れられない可能性あり。</p> <p>※国道165号線を横断するが、歩道橋あり。</p>							

1.3.4. 再編実施後の幼稚園区

再編シミュレーションに示すとおり、再編を実施した場合は以下のとおりとなります。

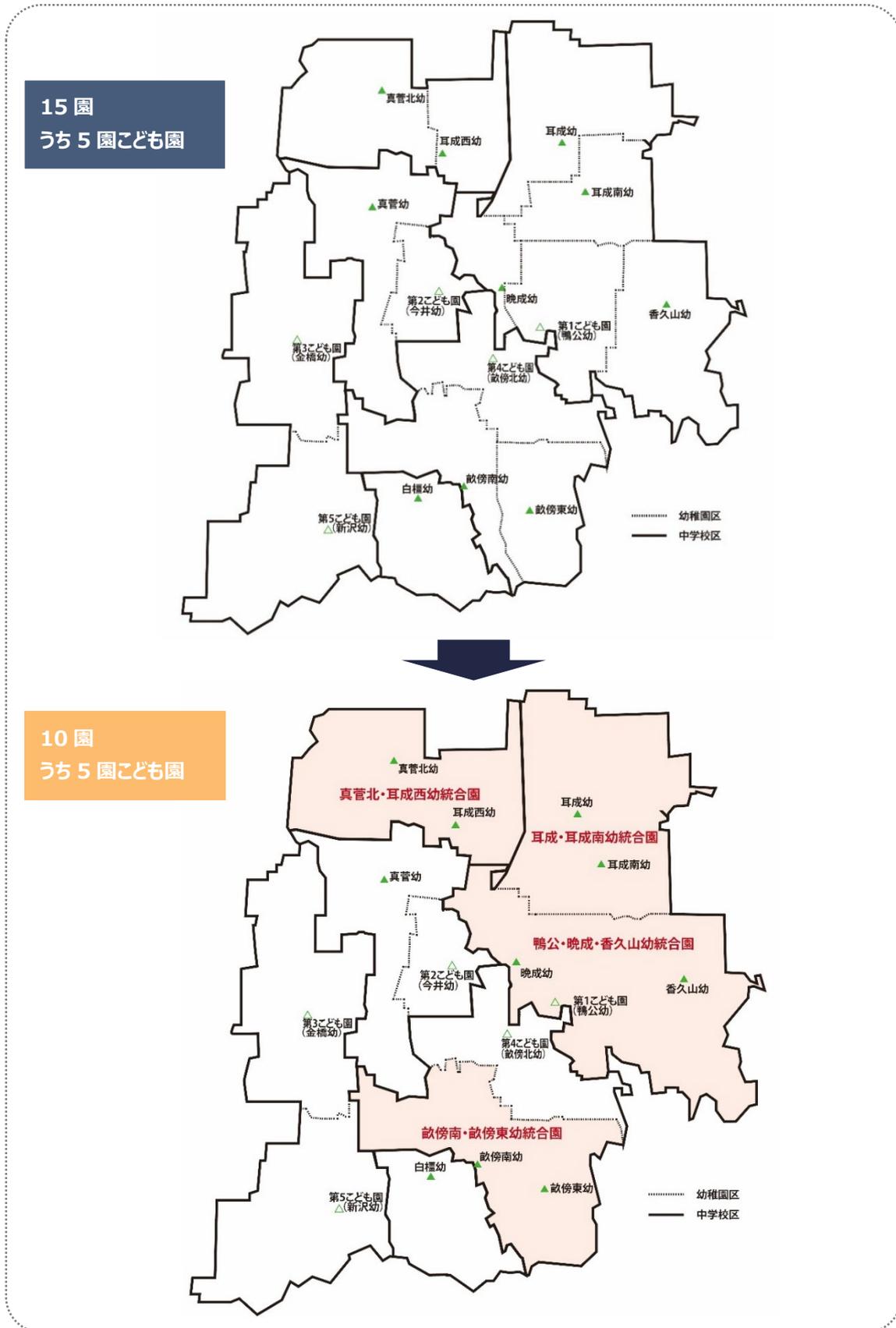


図 1-1 : 再編後の幼稚園区

1.4. 対応策2 認定こども園の整備と民間活力の導入の検討

1.4.1. 認定こども園としての整備と課題

多様な保育ニーズに対応するため、公立幼稚園の再編の際に、既存施設からの転換を目指し、新たな枠組みとして認定こども園としての整備について検討します。

しかしながら、認定こども園としての整備については、職員数の不足、施設規模の不足といった課題が生じます。

(1) 認定こども園（186人規模 想定）の年齢別内訳と必要教室数及び職員数

最低9教室が必要であり、既存施設を活用した再編を実施した場合、保有教室数が8を超える公立幼稚園は存在しないため、認定こども園として整備するためには施設の増改築や職員を増員する必要があります。

表 1-3：認定こども園（186人規模 想定）の年齢別内訳と必要教室数及び職員数

年齢	内訳	必要教室数	教諭・保育士	算定基準
0歳児	6	1	2	3人に対し職員1名
1歳児	10	2	2	6人に対し職員1名
2歳児	20	1	4	6人に対し職員1名
3歳児	30	1	2	20人に対し職員1名
4歳児	60	2	2	30人に対し職員1名
5歳児	60	2	2	30人に対し職員1名
合計	186	9	14	

表 1-4：認定こども園として必要な施設規模

園名	現状の 保有教室数	必要教室数	余裕教室
真菅北・耳成西幼稚園	7	9	-2
耳成・耳成南幼稚園	7	9	-2
畝傍南・畝傍東幼稚園	8	9	-1
真菅幼稚園	6	9	-3

※保有教室の多い園を条件とした場合

※各案の必要教室数は統合時期に見込まれる必要教室数

(2) 認定こども園として必要な設備・機能

必要教室数の増加に加え、現状の公立幼稚園に整備されていない機能を、「奈良県幼保連携認定こども園の学級の編成、職員、設備及び運営の基準に関する条例」に基づき、整備する必要があります。

主に不足する機能は以下のとおりです。

- 一 職員室
- 二 **乳児室又はほふく室**
- 三 保育室
- 四 遊戯室
- 五 保健室
- 六 **調理室**
- 七 便所
- 八 飲料水用設備、手洗用設備及び足洗用設備

※ **太字**：現在公立幼稚園に設置されていない機能・設備

1.4.2. 民間活力の導入の検討について

公立幼稚園の再編の際に、認定こども園として整備する場合は、必要教室数の増加に加え、長時間保育に対応する職員を増員するなど、現状の公立幼稚園に整備されていない設備や機能などが必要となり、大きな財政負担が生じます。

しかしながら公立幼稚園を認定こども園に整備する場合に国からの財政的な支援は少なく、国の施策として民間施設への財政支援が手厚くなっています。

そのため、課題解消と効率的な運営の方法として民営化や民間法人との連携を図る官民連携手法の導入の検討の必要があると考えています。

なお、檀原市こども園についても、これまで檀原市が取り組んできたこども園の実績を踏まえつつ、民間活力を導入した将来的な方向性を検討します。

1.5. 対応策3 公立幼稚園での3歳児保育の実施について

3歳児保育の実施にあたっては、園児数、学級数増加に対する人員配置および施設規模が課題となります。そのため、幼稚園における対応の可能性について検討します。

また、第1回検討委員会で示した私立保育園・幼稚園・認定こども園に通園していないと考えられる3歳児人口を対象に想定します。

1.5.1. 私立保育園・幼稚園・認定こども園に通園していない3歳児人口について

表 1-5：私立保育園・幼稚園・認定こども園に通園していない3歳児人口推移と推計

年度	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
園区	推移					推計										
畝傍南	39	38	38	37	33	32	30	34	25	25	24	23	22	22	21	21
畝傍北	32	36	33	28	26	29	25	24	28	26	25	25	25	24	24	24
鴨公	24	23	21	16	17	21	22	26	20	19	19	18	18	18	17	17
晩成	41	32	35	37	38	30	32	34	29	34	34	34	34	34	33	33
耳成	48	56	40	51	39	45	37	41	42	39	39	38	37	36	36	35
今井	25	19	32	26	32	36	26	26	27	29	29	29	29	29	29	30
真菅	58	58	60	64	56	52	45	60	53	52	52	51	51	50	50	49
金橋	40	36	43	40	44	50	44	46	39	43	42	41	40	39	39	38
香久山	11	6	10	9	7	5	9	9	4	7	7	7	6	6	6	6
新沢	18	16	20	13	14	11	13	15	11	11	11	10	10	9	9	9
耳成南	72	67	53	63	60	63	54	54	52	56	55	56	52	51	51	51
真菅北	58	57	62	50	45	44	47	39	45	43	42	42	41	40	39	39
畝傍東	63	56	64	58	54	52	43	41	38	46	45	44	43	42	40	39
耳成西	50	43	45	43	33	47	40	42	37	40	40	39	39	39	39	38
白檀	29	29	26	25	19	25	24	22	19	21	20	19	19	18	17	17
合計値	608	572	582	560	517	542	491	513	469	491	484	476	466	457	450	446

※小数点以下は四捨五入による処理を行っています。

1.5.2. 公立幼稚園で3歳児保育を実施した場合に必要な施設規模

公立幼稚園で3歳児保育を実施する場合は、1学級追加されると想定します。

この場合、香久山幼稚園を除く公立幼稚園で、3歳児保育実施が可能です。

表 1-6 : 3歳児保育に必要な施設規模（現状）

園名	現状の 保有教室数	4・5歳児の2年保育		3・4・5歳児保育実施 (1学級追加)	
		必要教室数	余裕教室数	必要教室数	余裕教室数
畝傍南幼稚園	4	2	2	3	1
晩成幼稚園	6	2	4	3	3
耳成幼稚園	3	2	1	3	0
真菅幼稚園	6	4	2	5	1
香久山幼稚園	2	2	0	3	-1
耳成南幼稚園	7	2	5	3	4
真菅北幼稚園	7	3	4	4	3
畝傍東幼稚園	8	2	6	3	5
耳成西幼稚園	5	2	3	3	2
白檀幼稚園	6	2	4	3	3
第1こども園（幼稚園部分）	5	2	3	3	2
第2こども園（幼稚園部分）	4	2	2	3	1
第3こども園（一体園）	10	2	-	3	-
第4こども園（幼稚園部分）	6	2	4	3	3
第5こども園（一体園）	9	2	-	3	-

1.5.3. 公立幼稚園の再編後に3歳児保育を実施した場合

公立幼稚園の再編後における教室使用状況は以下のとおりです。

いずれの場合も、3歳児保育の実施が可能です。

表 1-7 : 再編後の3歳児保育実施に必要な施設規模

園名	現状の 保有教室数	4・5歳児の2年保育		3・4・5歳児保育実施 (1学級追加)	
		必要教室数	余裕教室数	必要教室数	余裕教室数
真菅北・耳成西幼稚園	7	4	3	5	2
耳成・耳成南幼稚園	7	4	3	5	2
畝傍南・畝傍東幼稚園	8	4	4	5	3
真菅幼稚園	6	4	2	5	1

※保有教室の多い園を条件とした場合

※各案の必要教室数は統合時期に見込まれる必要教室数

1.6. 対応策4 預かり保育の拡充について

公立幼稚園での預かり保育の延長など、速やかに実施可能なサービスの拡充について検討します。既存施設で拡充可能であり、できることから速やかに実施したいと考えています。

1.7. 対応策5 過小規模園の一時的な休園について

対応策1で公立幼稚園の再編を行い、適正配置を実現するまでには相応の時間がかかると考えられ、現時点でも園児数が10人に満たない園もあります。

子どもたちの育ちに大切な集団が過小規模となり、幼児教育の実施が困難と見込まれる場合に休園とする基準を検討しておく必要があると考えています。

2. 認定こども園の類型及び民間活力導入の形態について

2.1.1. 認定こども園の類型

認定こども園は、機能別に以下の4つの類型に分かれています。

表 2-1 認定こども園の類型

類型	特徴
幼稚園型	・幼稚園が、保育を必要とする子どものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えて認定こども園の機能を果たすタイプ
幼保連携型	・幼稚園的機能と保育的機能の両方の機能を併せ持つ単一の施設として、認定こども園の機能を果たすタイプ
保育所型	・認可保育所が、保育を必要とする子ども以外の子どもを受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えることで認定こども園の機能を果たすタイプ
地方裁量型	・認可保育所以外の保育機能施設等が、保育を必要とする子ども以外の子どもも受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えることで認定こども園の機能を果たすタイプ

2.1.2. 民間活力導入の形態について

民間活力の導入は、行政が民間の様々なノウハウを有効活用しつつ、住民ニーズに対応していくための手法の一つです。様々な手法・スキームがあり、官民の関係も異なります。

なかでも、公私連携手法は民設民営でありつつも、公共性を担保することが可能な手法です。

施設設置・運営の条件等		施設分類				
		幼稚園	幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園	保育所型 認定こども園	保育所
法的 性格	・学校教育法に基づく学校	○	○			
	・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき、こども園として認定された幼稚園（許可外の併設可）		○			
	・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づく学校			○		
	・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき、こども園として認定された保育所				○	
	・児童福祉法に基づく児童福祉施設			○	○	○
	・子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設	○	○	○	○	○
民間 活力 導入 の 形態	民間移譲（民設民営） 運営主体：制限なし 手続き：財産処分に係る議会の議決	X	X	X	○	○
	公私連携（民設民営） 運営主体：学校法人・社会福祉法人 手続き：長期貸付に係る議会の議決	X	X	○	○	○
	指定管理（公設民営） 運営主体：民間（個人は除く） 手続き：選考法人に係る議会の議決	X	X	X	○	○
	業務委託（公設民営） 運営主体：市 手続き：契約行為	X	X	X	○	○

2.1.3. 公私連携幼保連携型認定こども園について

幼保連携型認定こども園については、民間活力導入が可能な手法は公私連携による手法のみです。

■ 公私連携幼保連携型認定こども園

子ども・子育てのための地域における中核施設を誘致するにあたり、民間法人に設置のインセンティブを付与しつつ、一方で、相手先の選定に関する公正な手続や運営に関する市民・第三者・市町村によるチェックを機能させることが必要です。このことから、民設民営でありつつも、市町村の関与を明確にしつつ、設置主体に設置のインセンティブが働く新しい運営形態を、法律上の体制として構築したものです。

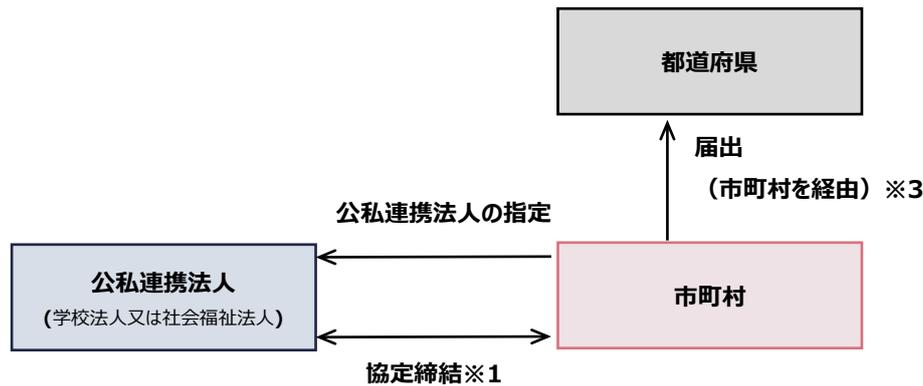


図 2-1 公私連携施設のスキーム

◆ 協定締結事項

- ① 協定の目的となる公私連携幼保連携型認定こども園の名称及び所在地
- ② 公私連携幼保連携型認定こども園における教育・保育・子育て支援事業（保育・子育て支援事業）に関する基本的事項
- ③ 市町村による必要な設備の貸付け、譲渡その他の協力に関する基本的事項※2
- ④ 協定の有効期間
- ⑤ 協定に違反した場合の措置
- ⑥ その他公私連携幼保連携型認定こども園の設置及び運営に関し必要な事項

※1 対象法人

- ・ 公私連携幼保連携型認定こども園は、学校法人又は社会福祉法人に限定される

※2 公有設備の無償・廉価での譲渡・貸付

- ・ 市町村による必要な設備の貸付け、譲渡その他の協力に関する基本的事項については協定により定められることとなっており、当該協定に基づき、必要に応じて公有設備の無償又は廉価での貸付け・譲渡を可能とし、効率的な施設の整備・参入促進を可能としている（認定こども園法第34条第4項、児童福祉法第56条の8第4項）

※3 届出

- ・ 指定都市・中核市が指定する公私連携法人の場合、都道府県への届出は不要であり、当該指定都市・中核市への届出となる

3. 公立幼稚園の休園基準等について

3.1. 公立幼稚園の休園等の考え方について

幼児期は、生活の中で自発的・主体的に環境とかわりながら直接的・具体的な体験を通して、生きる力の基礎となる心情、意欲、態度などを身に付けていく時期とされており、学校教育法第23条第2号では、人とのかわりに関する領域について、集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家庭や身近な人への信頼感を高め、自主、自立及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うことを目標として達成するように示されています。

国が示す幼稚園設置基準では、1学級35人以下を原則としており、平成23年度文科省委託「幼児集団の形成過程と協同性の育ちに関する研究」として社団法人全国幼児教育研究協会が実施した実地調査及び意識調査からの考察では、一人一人の幼児への個別の対応が求められる「個に応じた援助」を行い、集団の形成過程を大切に、「協同性の育ち」を培うためには、1学級に、3歳児でも20人前後、4、5歳児は21人以上30人くらいの集団が適切だと考えられているということができるとあります。また、教員が望む1学級の幼児数は、発達の段階を考慮すれば、3歳児は20人以下、4、5歳児は20人以上、中でも5歳児は25人以上が望ましいということであろうとあります。

本市のこども園を除く公立幼稚園では、現在1学級20人以下の園が6園あり、そのうち1学級10人以下の園が3園となっており、なかには1学級5人以下の園も1園あります。園児数の推計を行った結果からは、今後、1学級20人以下となる園が増加することが想定されます。

そのため、公立幼稚園の休園等の考え方について、他自治体の休園基準等も参考に一定の基準を検討しておく必要があります。

(1) 他自治体の休園基準の例

表 3-1 休園等の基準事例

自治体名	休園基準等
奈良市	<p>・園児募集停止基準 園児募集の結果、2年保育の園児の応募数が15名未満で、かつ翌年度の在園予定園児数が30名未満となる園については、翌年度における募集分から園児募集を停止することとします。</p> <p>・休園及び閉園基準 翌年度に在園する園児が0名となる幼稚園については、翌年度の閉園の手続きを行うこととします。 当該年度の途中で在園する園児が0名となった幼稚園については、その時点から休園の手続き及び翌年度の閉園の手続きを行うこととします。</p>
大分県大分市	学級編制基準日（入園式の日）の入園児数が、3年連続14人以下となる場合（2年制の場合は、4歳児の入園児数が14人以下となる場合）は、翌年4月から統廃合とする。（2年制の場合は、翌年4月に4歳児学級を休園とする。また、統廃合を決定した後の園児募集は行わない。）
大阪府八尾市	2年連続で4歳児の応募が15名未満となった翌年4月から休園とする。
三重県松阪市	集団としての教育効果や教育の質の向上の面から休園基準を総園児数5名未満から15名未満に見直していく。
石川県加賀市	新年度の入園申込終了時点において、2年連続20名未満の入園児童数となる場合でかつ年度途中の入園児童数を見込んでも20人以上の確保が困難な場合、保育園の休園のための協議を行う。ただし、新年度の入園申込終了時点で、入園見込み児童数が10名未満となる場合は休園とする。
兵庫県宝塚市	2年連続で4歳児が30人以下となった場合、翌年度から園児募集を停止し、在園児が卒園後に廃園とする。

(2) 公立幼稚園の休園等の考え方

a) 1学級20人以下の場合

令和5年度までに9園が休園の対象となります。

また、白檀中学校区、檀原中学校区では、公立幼稚園がなくなり、現状のままでは公立の選択ができなくなる見込みです。早急に既存施設からの転換を図る必要があります。

休園年度	畝傍 中学校区	八木 中学校区	大成 中学校区	光陽 中学校区	白檀 中学校区	檀原 中学校区
R2	畝傍南幼 (11,14)	晩成幼 (10,9) 香久山幼 (5,5)			白檀幼 (8,10)	真菅北幼 (16,12) 耳成西幼 (13,12)
R4		耳成幼 (18,20)				
R5	畝傍東幼 (15,19)	耳成南幼 (19,19)				
1学級 20人超の園	第4こども園	第1こども園	真菅幼 第2こども園	第3こども園 第5こども園	-	-

b) 1学級15人以下の場合

令和11年度までに7園が休園の対象となります。

また、白檀中学校区、檀原中学校区では、公立幼稚園がなくなり、現状のままでは公立の選択ができなくなる見込みです。早急に既存施設からの転換を図る必要があります。

休園年度	畝傍 中学校区	八木 中学校区	大成 中学校区	光陽 中学校区	白檀 中学校区	檀原 中学校区
R2	畝傍南幼 (11,14)	晩成幼 (10,9) 香久山幼 (5,5)			白檀幼 (8,10)	耳成西幼 (13,12)
R3						真菅北幼 (15,12)
R11	畝傍東幼 (13,15)					
1学級 15人超の園	第4こども園	耳成幼 耳成南幼 第1こども園	真菅幼 第2こども園	第3こども園 第5こども園	-	-

c) 1学級10人以下の場合

令和7年度までに4園が休園の対象となります。

また、白檀中学校区では、公立幼稚園がなくなり、現状のままでは公立の選択ができなくなる見込みです。早急に既存施設からの転換を図る必要があります。

休園年度	畝傍 中学校区	八木 中学校区	大成 中学校区	光陽 中学校区	白檀 中学校区	橿原 中学校区
R2		晩成幼 (10,9) 香久山幼 (5,5)			白檀幼 (8,10)	
R7	畝傍南幼 (9,10)					
1学級 10人超の園	畝傍東幼 第4こども園	耳成幼 耳成南幼 第1こども園	真菅幼 第2こども園	第3こども園 第5こども園	-	真菅北幼 耳成西幼

4. 今後の検討スケジュールについて

4.1. 次回以降の開催時期

本計画策定までの開催時期は以下を予定しています。
本日よりおおむね2ヶ月に1回の開催予定です。

表 4-1：今後の検討スケジュール（案）

令和元年度		令和2年度										令和3年度		
1月	2・3	4	5・6	7月	8	9月	10	11月	12	1月	2	3月	4	5月
第1回 済	第2回 延期			第2回 済		第3回		第4回		パブリック コメント		第5回		答申

4.2. 各回での検討事項（案）

答申までの全5回予定の中で、検討いただくことを想定している内容は以下のとおりです。

表 4-2：各回の議題案

回数	内容	備考
第1回 済	<ul style="list-style-type: none"> ・諮問 ・適正配置における本市の考え方 ・本検討に関わる本市の現状について ・今後の検討スケジュールについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選出等
第2回 済	<ul style="list-style-type: none"> ・適正配置対象園について ・適正配置シミュレーションの結果 ・今後の保育ニーズと施設整備の考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に、適正配置の組み合わせや、今後の施設整備、保育・教育の考え方について検討
第3回 (本日)	<ul style="list-style-type: none"> ・適正配置実施における施設整備の考え方 ・施設整備の水準及び民間活力導入の考え方 ・公立幼稚園の休園等の考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に、適正配置後の姿を想定した施設の使い方や運営についての考え方について検討
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・適正配置後の姿 ・施設整備費用と実施時期 ・民間活力導入の方向性 ・パブリックコメント実施案について 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正配置後の姿として、具体的な方向性等について検討 ・パブリックコメント実施案の検討
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント実施結果 ・答申案 	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの実施結果を踏まえて答申案を検討
答申	<ul style="list-style-type: none"> ・檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会答申 	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.5月予定

1. 公立保育所・幼稚園の現状について

1.1. 公立保育所・幼稚園の園児数推移及び推計

1.1.1. 園児数の推移

各園における平成27年度から令和2年度までの推移は以下のとおりです。

令和2年度時点で真菅幼稚園を除くすべての園が各学年1学級の小規模園であり、平成27年度時点では1学級20人以上であった幼稚園の多くが1学級10人規模まで減少しています。

■ 畝傍中学校区

園		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	
畝傍南幼稚園 保有 教室数 4	園児数	43	45	41	39	31	25	
	4歳児	22	21	20	17	13	11	
	5歳児	21	24	21	22	18	14	
	学級数	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	2	2	2	2	2	2	
第4こども園 大久保保育所 保有 教室数 7 畝傍北幼稚園 保有 教室数 6	園児数	136	148	173	171	171	173	
	0歳児	4	3	3	3	4	6	
	1歳児	13	13	26	27	27	20	
	2歳児	22	20	27	35	38	31	
	3歳児	31	32	35	33	38	38	
	4歳児	36	40	42	34	35	41	
	5歳児	30	40	40	39	29	37	
学級数	9	9	11	11	11	12		
うち幼稚園部分	園児数	42	38	29	26	28	21	
	4歳児	20	18	11	13	13	9	
	5歳児	22	20	18	13	15	12	
	学級数	2	2	2	2	2	2	
	幼稚園余裕教室数	4	4	4	4	4	4	
畝傍東幼稚園 保有 教室数 8	園児数	66	63	52	47	57	44	
	4歳児	29	32	16	28	27	19	
	5歳児	37	31	36	19	30	25	
	学級数	3	2	3	2	2	2	
	余裕教室数	5	6	5	6	6	6	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合

：各学年1学級の場合

■ 八木中学校区

園	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		2015	2016	2017	2018	2019	2020
第1こども園 藤原京保育所 保有 教室数 6 鴨公幼稚園 保有 教室数 5	園児数	177	189	201	178	171	158
	0歳児	3	5	6	4	3	5
	1歳児	27	26	25	19	21	18
	2歳児	31	35	39	29	33	26
	3歳児	42	42	42	38	34	35
	4歳児	38	42	48	41	39	33
	5歳児	36	39	41	47	41	41
学級数	12	11	11	11	11	11	
うち幼稚園部分	園児数	24	25	26	21	13	7
	4歳児	8	17	9	10	3	6
	5歳児	16	8	17	11	10	1
	学級数	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	3	3	3	3	3	3
晩成幼稚園 保有 教室数 6	園児数	21	35	31	24	22	19
	4歳児	13	21	9	12	9	10
	5歳児	8	14	22	12	13	9
	学級数	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	4	4	4	4	4	4
耳成幼稚園 保有 教室数 3	園児数	58	54	64	60	44	43
	4歳児	29	23	38	21	24	18
	5歳児	29	31	26	39	20	25
	学級数	2	2	3	3	2	2
	余裕教室数	1	1	0	0	1	1
香久山幼稚園 保有 教室数 2	園児数	12	11	14	9	9	10
	4歳児	5	6	6	3	5	5
	5歳児	7	5	8	6	4	5
	学級数	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	0	0	0	0	0	0
耳成南幼稚園 保有 教室数 7	園児数	77	81	78	66	52	43
	4歳児	38	43	36	28	21	22
	5歳児	39	38	42	38	31	21
	学級数	4	4	4	3	2	2
	余裕教室数	3	3	3	4	5	5

※ 赤字：1学級あたり16人以下の場合 各学年1学級の場合

■ 大成中学校区

園		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			2015	2016	2017	2018	2019	2020
第2こども園 今井保育所 保有 教室数 8 今井幼稚園 保有 教室数 4	園児数	193	198	215	198	197	197	
	0歳児	7	5	10	7	6	10	
	1歳児	26	30	25	31	29	27	
	2歳児	35	34	40	34	36	36	
	3歳児	51	37	44	42	38	39	
	4歳児	38	53	43	44	43	41	
	5歳児	36	39	53	40	45	44	
	学級数	11	11	12	13	13	11	
うち幼稚園部分	園児数	27	32	22	32	33	30	
	4歳児	23	9	13	20	13	16	
	5歳児	4	23	9	12	20	14	
	学級数	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	2	2	2	2	2	2	
真菅幼稚園 保有 教室数 6	園児数	95	80	81	77	76	60	
	4歳児	35	44	38	38	37	21	
	5歳児	60	36	43	39	39	39	
	学級数	4	4	4	4	4	3	
	余裕教室数	2	2	2	2	2	3	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 ：各学年1学級の場合

■ 光陽中学校区

園	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		2015	2016	2017	2018	2019	2020
第3こども園 金橋保育所 金橋幼稚園 保有 教室数 10 ※一体施設	園児数	127	140	146	143	144	160
	0歳児	2	5	5	5	3	4
	1歳児	14	15	25	14	15	19
	2歳児	24	19	22	33	24	22
	3歳児	26	34	24	30	38	34
	4歳児	30	34	34	28	37	38
	5歳児	31	33	36	33	27	43
学級数	9	10	10	10	10	10	
うち幼稚園部分	園児数	53	52	43	45	43	31
	4歳児	29	24	19	24	19	16
	5歳児	24	28	24	21	24	15
	学級数	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	-	-	-	-	-	-
第5こども園 川西保育所 新沢幼稚園 保有 教室数 9 ※一体施設	園児数	106	108	116	114	119	122
	0歳児	3	5	1	2	4	5
	1歳児	15	12	16	15	15	13
	2歳児	22	19	20	19	19	22
	3歳児	23	25	23	26	27	24
	4歳児	21	26	26	27	26	30
	5歳児	22	21	30	25	28	28
学級数	7	9	9	8	8	8	
うち幼稚園部分	園児数	23	25	27	20	17	22
	4歳児	8	16	11	9	9	10
	5歳児	15	9	16	11	8	12
	学級数	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	-	-	-	-	-	-

※ **赤文字**：1学級あたり16人以下の場合 ：各学年1学級の場合

■ 白檀中学校区

園		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			2015	2016	2017	2018	2019	2020
白檀幼稚園 保有 教室数 6	園児数		34	36	36	27	19	18
	4歳児		18	18	17	7	10	8
	5歳児		16	18	19	20	9	10
	学級数		2	2	2	2	2	2
	余裕教室数		4	4	4	4	4	4

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 : 各学年1学級の場合

■ 檀原中学校区

園		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			2015	2016	2017	2018	2019	2020
真菅北幼稚園 保有 教室数 7	園児数		52	63	49	45	47	28
	4歳児		21	39	11	33	11	16
	5歳児		31	24	38	12	36	12
	学級数		2	3	3	2	3	2
	余裕教室数		5	4	4	5	4	5
耳成西幼稚園 保有 教室数 5	園児数		59	52	49	54	39	25
	4歳児		30	23	25	28	11	13
	5歳児		29	29	24	26	28	12
	学級数		2	2	2	2	2	2
	余裕教室数		3	3	3	3	3	3

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 : 各学年1学級の場合

1.1.2. 園児数の推計

人口推計値をもとに、園児数の推計を行った結果は以下のとおりです。現在よりもさらに公立幼稚園の小規模化が進行し、令和16年度には、1学級あたり5人を下回ると見込まれている公立幼稚園もあります。

■ 畝傍中学校区

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
畝傍南幼稚園 保有 教室数 4	園児数	25	24	24	25	22	19	19	19	19	17	17	17	17	16	15	15
	4歳児	11	12	11	13	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	7	7
	5歳児	14	12	13	12	13	10	10	10	9	9	9	9	8	8	8	8
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
第4こども園 大久保保育所 保有 教室数 7 畝傍北幼稚園 保有 教室数 6	園児数	173	179	179	177	181	185	183	181	178	176	174	172	171	167	167	
	0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	1歳児	20	24	23	23	23	22	22	22	22	21	21	21	21	20	20	
	2歳児	31	31	36	35	35	35	34	34	33	33	33	32	32	31	31	
	3歳児	38	33	33	38	37	37	37	36	35	35	35	34	34	33	33	
	4歳児	41	43	37	37	43	42	41	41	40	40	39	39	39	38	38	
	5歳児	37	42	44	38	37	43	43	42	42	41	40	40	39	39	39	
学級数	12	9	10	11	11	11	10	10	10	10	10	10	9	9	8	8	
うち幼稚園部分	園児数	21	24	24	21	22	24	23	23	23	23	22	22	22	22	22	
	4歳児	9	10	9	8	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
	5歳児	12	14	15	13	12	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
畝傍東幼稚園 保有 教室数 8	園児数	44	42	38	34	32	31	29	29	29	28	27	26	26	25	24	
	4歳児	19	19	16	15	14	14	13	13	13	13	12	12	12	11	11	
	5歳児	25	23	22	19	18	17	16	16	16	15	15	14	14	14	13	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 ：各学年1学級の場合

■ 八木中学校区 1

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
第1こども園 藤原京保育所 保有 教室数 6 鴨公幼稚園 保有 教室数 5	園児数	158	180	195	196	195	175	171	167	164	163	159	155	153	149	147	
	0歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4
	1歳児	18	15	14	14	14	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	11
	2歳児	26	31	24	24	23	23	22	22	22	21	21	21	20	20	19	19
	3歳児	35	38	44	34	34	33	32	31	31	31	31	30	29	29	28	28
	4歳児	33	43	46	53	42	41	40	39	38	38	37	36	36	35	34	
	5歳児	41	48	62	66	77	60	59	57	56	55	54	53	52	51	51	
学級数	11	9	9	8	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	
うち幼稚園部分	園児数	7	10	11	12	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	
	4歳児	6	8	9	10	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	
	5歳児	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
余裕教室数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
晩成 幼稚園 保有 教室数 6	園児数	19	18	17	17	17	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
	4歳児	10	8	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
	5歳児	9	10	8	8	9	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
余裕教室数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		

■ 八木中学校区2

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
耳成幼稚園 保有 教室数 3	園児数	43	40	38	37	38	39	39	37	37	36	35	35	34	33	33	
	4歳児	18	22	18	20	20	20	20	19	19	18	18	18	17	17	17	
	5歳児	25	18	20	17	18	19	19	18	18	18	17	17	17	16	16	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
香久山幼稚園 保有 教室数 2	園児数	10	9	12	14	9	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	
	4歳児	5	5	8	8	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	5歳児	5	4	4	6	6	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
耳成南幼稚園 保有 教室数 7	園児数	43	44	42	38	37	36	36	35	35	34	33	33	33	33	33	
	4歳児	22	23	20	19	19	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	
	5歳児	21	21	22	19	18	18	18	17	17	17	16	16	16	16	16	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合

：各学年1学級の場合

■ 大成中学校校区

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
第2こども園 今井保育所 保有 教室数 8 今井幼稚園 保有 教室数 4	園児数	197	211	204	187	189	188	190	189	189	189	189	191	193	194	197	200
	0歳児	10	11	10	10	11	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	12
	1歳児	27	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	29	29	29	30	30
	2歳児	36	37	38	38	37	38	38	38	37	38	38	38	39	39	40	41
	3歳児	39	29	29	30	30	29	30	30	30	29	30	30	30	31	31	31
	4歳児	41	45	33	33	34	34	34	34	34	34	33	34	34	34	35	35
	5歳児	44	61	66	48	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50	50	51
学級数	11	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	
うち幼稚園部分	園児数	30	38	34	29	29	29	29	29	29	29	29	30	30	30	30	30
	4歳児	16	18	13	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14
	5歳児	14	20	21	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
余裕教室数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
真菅 幼稚園 保有 教室数 6	園児数	60	54	51	52	58	50	49	49	48	48	47	47	46	46	46	
	4歳児	21	21	18	24	20	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	
	5歳児	39	33	33	28	38	31	30	30	29	29	29	29	28	28	28	
	学級数	3	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 ：各学年1学級の場合

■ 光陽中学校区

園	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
第3こども園 金橋保育所 金橋幼稚園 保有 教室数 10 ※一体施設	園児数	160	163	164	155	148	140	136	134	132	130	127	126	124	123	123
	0歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	1歳児	19	17	16	16	16	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14
	2歳児	22	24	20	20	19	19	18	18	18	18	17	17	17	17	17
	3歳児	34	30	32	27	26	26	25	25	24	24	24	23	23	23	23
	4歳児	38	48	42	44	37	37	36	35	34	34	33	33	32	32	32
	5歳児	43	40	50	44	46	39	38	37	37	36	35	35	34	33	33
学級数	10	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	6	6	6	
うち幼稚園部分	園児数	31	35	36	35	32	30	29	28	28	28	27	26	26	26	26
	4歳児	16	21	18	19	16	16	15	15	15	15	14	14	14	14	14
	5歳児	15	14	18	16	16	14	14	13	13	13	13	12	12	12	12
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
余裕教室数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第5こども園 川西保育所 新沢幼稚園 保有 教室数 9 ※一体施設	園児数	122	128	120	118	113	98	94	89	86	83	80	76	73	71	69
	0歳児	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3
	1歳児	13	10	9	9	9	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6
	2歳児	22	27	19	18	17	17	16	15	15	14	14	13	13	12	12
	3歳児	24	27	32	23	22	21	20	19	18	18	17	16	16	15	15
	4歳児	30	24	27	32	23	22	21	20	19	18	17	17	16	16	15
	5歳児	28	35	28	31	37	26	25	24	23	22	21	20	19	19	18
学級数	8	7	6	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
うち幼稚園部分	園児数	22	23	21	25	24	20	18	17	17	16	15	15	15	14	13
	4歳児	10	8	9	11	8	8	7	7	7	6	6	6	6	6	5
	5歳児	12	15	12	14	16	12	11	10	10	10	9	9	9	8	8
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
余裕教室数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※ 赤字：1学級あたり16人以下の場合 赤背景：各学年1学級の場合

■ 白檀中学校区

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
白檀幼稚園 保有 教室数 6	園児数	18	18	20	19	17	16	16	14	14	14	14	12	12	12	12	
	4歳児	8	10	10	9	8	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	
	5歳児	10	8	10	10	9	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 ：各学年1学級の場合

■ 檀原中学校区

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
真菅北幼稚園 保有 教室数 7	園児数	28	27	27	25	25	27	26	26	25	25	25	24	24	23	23	
	4歳児	16	15	16	13	15	15	15	15	14	14	14	14	14	13	13	
	5歳児	12	12	11	12	10	12	11	11	11	11	11	10	10	10	10	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
耳成西幼稚園 保有 教室数 5	園児数	25	29	30	29	27	26	26	25	24	24	24	24	24	24	24	
	4歳児	13	19	16	17	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	
	5歳児	12	10	14	12	12	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 ：各学年1学級の場合